

ほうじん報告書

第17号 2014年1月

特定非営利活動法人こころ

URL <http://www.hcc-kokoro.jp/>

ハートケアセンターこころ・こむぎ・相談室こころ
〒428-0007 島田市島 581 番地の 14
TEL 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

- ・りなむ : 島田市金谷本町 2173 番地の 2
TEL・FAX 0547-46-1687
- ・さがら作業所 : 牧之原市福岡 1 5 7 番地 1
TEL・FAX 0548-52-7447
- ・地活はぐるま・あじさい : 牧之原市勝俣 1926 番地 1
TEL・FAX 0548-22-5529

駿馬のように より早く賢く

今年も新しい課題に向かって

新年あけましておめでとうございます。

本年が平安なる年となるよう祈念も申し上げます。今年の干支は『午・馬』ですから、駿馬にあやかり早く賢くありがたいものと願っております。スローライフの良さを大事にしながら、当法人としては本年も大きなことに挑もうとしております。その一つは『10周年事業』です。平成15年度に法人設立、翌年に活動のスタート。それから10年を数えることとなりました。本年2月8日に10年の記念事業を予定しております。これまでを振り返りこれからを考える機会としたいと思っております。

もう一つは新さから作業所の建設です。耐震上の問題から現さから作業所を移転新築すべく計画を進め、現在、国・県への補助申請をしているところです。それが順調に運ばば本年は建設工事となり、当法人にとっては一大事業であります。

当法人は『誰もが安心して当りに生活できる地域社会の形成』を目指し、毎年何かの新しい課題にトライしております。本年もひたすらこの歩み続ける所存でございますので、相変わらずのご指導とご声援をお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

理事長 山城厚生

法人設立10周年記念大会

2月8日(土) みんなくる(島田市金谷公民館)にて

- ・10時～ 利用者によるいいこと事発表会、10周年記念式典
- ・13時～ 10周年記念啓発事業(利用者によるWRAPの紹介:参加費500円)

WRAPとは:自分自身が元気であるために自ら作る行動プラン、『元気回復行動プラン』とも言う。

事業報告:平成25年度上期の報告

1. 相談室こころ(相談支援事業)

相談室こころは相談支援専門員を5名配置(兼務あり)し、従来の島田市との委託に合わせ、川根本町については10月より圏域内にある事業所への委託から当法人のみの委託へと変更となり、役場へ1名を派遣しています。また、日々の相談支援に合わせ、そこから浮かび上がってくる地域課題について各市町や圏域における自立支援協議会へも参画し、単に個別の相談で終わらせることなくよりソーシャルな視点を持ちながら取り組んでいくことをさらに心がけています。

一方、平成24昨年度より開始された計画相談については、島田市、牧之原市、川根本町と定期的な協議を重ねながら本格的にスタートしました。当法人は今までの実践から精神障害者の方々を中心にサービス等利用計画を立てさせていただいています。その中で、すでにサービスを利用されている方への途中からの計画であるため、本来のケアマネジメントとしての機能を発揮していくに



は多くの課題も見えてきました。ご本人を中心として多くの関係機関の方々との連携を十分に図る必要性を強く感じています。来年度は計画相談の一つの区切りの年でもありますので、それに向けて課題整理を行っていきたいと思います。さらに、地域相談は3人の方々に支援をさせていただいています。しかし、相変わらず対象となる人が上がってこない状況が続いています。給付サービスである地域相談が全入院者の耳に届いていない現状は否めません。情報が届かないこと自体「人権侵害」にあたることと認識をし、改めて地域相談への取り組みを積極的に行っていきたいと思います。

(菅原小夜子)

当法人が行っている相談支援

◆ 一般相談支援事業：市町の委託事業

- 支援内容：障害のある人の生活（福祉、医療等）に関する様々な問題について、障害のある人・家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行う他、権利擁護のために必要な援助も行います。

◆ 指定特定相談支援事業（計画相談）：給付事業

- 支援内容：サービス等の相談及びサービス等利用計画作成などの支援が必要な場合に、障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行います。

◆ 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）：給付事業

- 地域移行支援内容：入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する人に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取組と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行います。
- 地域定着支援内容：入所施設や精神科病院から退所・退院した人、家族との同居から一人暮らしに移行した人、地域生活が不安定な人等に対し、地域生活を継続していくための支援を行います。

2. 地域活動支援センター事業

1) ハートケアセンターこころ（島田市補助事業）：基礎事業＋機能強化Ⅰ型

昨年度後半より医療機関や行政等からの紹介が増え、新規登録者が少しずつ増えてきたことにより、今までのクラブ活動や実行委員会形式での企画、運営のあり方を再度見直す状況となっています。メンバー自身が自らのストレングスにいかにかげづき、発揮していけるかを個別のかかわりを丁寧に行っていきたいと思います。

一方、メンバー中心で運営されるWRAP（1回/月）は2年を経過し、より主体的なグループとしてさらにパワーアップしてきています。2月の法人10周年企画として、「WRAPワークショップ」をメンバー企画で実施を予定しています。また、ご家族の勉強会として「家族による家族学習会」を1クール6回として実施しています。両企画ともに、スタッフが企画、運営し学習の場を提供するという従来のスタッフ主導のものではなく、あくまでも当事者を主体としたピア活動として、スタッフとメンバーが運営の両輪として今後も展開していきたいと思っています。また、12月より地活サテライトを1回/月島田駅前にて試験的に実施をしています。今年度の実施状況を踏まえ、来年度の実施方法を検討していきたいと思います。

(菅原小夜子)



4月：近隣の花見ウォーク



7月：日本平動物園小旅行



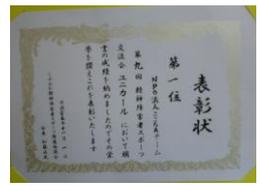
夢づくり会館前清掃

2)地域活動支援センターはぐるま（牧之原市補助事業）：基礎事業＋機能強化Ⅱ型

7月より建屋の一部を改装し、さがら作業所のサテライト（あじさい）を開所したことにより、メンバーの利用の仕方に広がりが出てきました。「働くこと」「休むこと」「楽しむこと」「活動すること」が、それぞれのペースに合った形で組み立てられる機会や場となっています。多少、あじさいへの利用によって今までのメンバーの利用は減少しましたが、新規の登録者が少しずつ増え、新たなはぐるまの雰囲気も出てきました。

また、メンバーからの発案による地域への社会貢献活動も地道に行われ、メンバーの主体性がより発揮されています。今後もスタッフと共に「はぐるまらしさ」をいかした地域活動支援センターを作っていきたいと思えます。

（菅原小夜子）



11月：スポーツ大会優勝



聖隷クリストファーと共に



K・Nさんの作品



T・Nさんの作品



M・Mさんの作品



M・Iさんの作品



6月：静波海岸の清掃

3. 就労支援事業

1)いなむ（就労継続B型事業）

1年を振り返り最も強く感じることは「利用者さんの自立」ということです。「いなむ」では送迎が始まり、来所の時間がまちまちになったのをきっかけに、朝のミーティングをやめました。

「いなむ」での作業はパン製造、販売、喫茶店2つ、施設外支援、石鹸工房、軽作業と多様です。基本は週毎の交代で、自分の作業場所が変わります。時には午前と午後とで変わることもあります。以前は、朝夕ミーティングをして自分の行き場所やその日のスケジュールをみんなで確認をしていました。これをやめた時は短い時間で自分の予定や行動を判断して動くことができるのか不安でした。最初はなかなか時間通り行かなかったり持ち物や支度に戸惑ったりしていた利用者さんも表を見て翌日の予定を確認しその作業に合った準備をきちんとできるようになりました。障害によっては無理と思われるかもしれませんが、本当にできるようになるのです。それができるようになると今度は自分の事だけでなくタオルたたみや、清掃などの共同作業においても自分のできることを積極的に見つけて動く姿が見られました。

更に驚いた事は面談や日常の会話の中で「自分の将来」「自分の希望」「自分の意志」について話すようになった事です。時にもめた場合には「自分を振り返る」事もできるようになっていました。そんな毎日の積み重ねは確実に自信に繋がり今年は多くのイベントにも積極的に参加し、堂々とした販売ぶりでした。

それだけでなく心から楽しんでいる笑顔は眩しいほどでした。これこそが就労継続支援 B 型事業所のあるべき姿だと利用者さん達から教えられた1年だったと思います。

26年は更に生き生きと笑顔いっぱいの「いなむ」にしたいと思えます。

（柳川久子）



りなむの花



10月：SLフェスタ



8月：募金活動

2)こむぎ (就労継続B型事業)

10月に島田市社会福祉協議会主催のふれあい広場、11月には金谷産業祭へ「りなむ」と合同で参加しました。金谷産業祭は乾燥こんにゃく、トイレットペーパー、化粧せっけん、クッキー等の自主製品の販売に加えて射的コーナーを設け子どもも大人も楽しめる工夫をしました。出展内容を決める話し合いや準備作業、当日の運営もメンバーと共に時間をかけたことで達成感を分かち合うことができました。一人ひとりが役割をもって臨んだことは「こころ」を知ってもらう機会につながったと思います。また、静岡県社会福祉協議会の障害者工賃アップ促進費助成で煎餅焼き機を購入する事ができました。これからみんなで話し合い、試作品の試行錯誤を重ね「また食べたい!」というせんべいを作っていこうと思っています。26年は工賃アップという目標に向かって前進する年となりそうです。さらに10月からは施設外支援で1人、11月からはトライアル雇用で1人働き始めています。それぞれの働き方を応援する「こむぎ」で有り続けたいと思います。

(渡邊里佳)



せんべい試作



金谷産業祭

3)さがら作業所 (就労継続B型事業)

さがら作業所は、従たる事業所「あじさい」の開所で利用者数は、主従合わせて40人となり、働くことの意義を改めて感じています。個々の状態や目標に合わせて働くことで、今まで気付かなかった個々の力が引き出されていると感じます。

そしてもう一つ感じていることは、社会の営みに参加していることが実感しやすいことです。人は、いろいろなことで自分が社会とつながっていると感じると思いますが、就労支援事業所では、小さな内職の部品一つ組み立てることで、それがどう使われているかを知ると、ちょっと誇らしくなり、つながりを感じます。また、リーマンショックの時は仕事が半減、消費税増税では駆け込み需要でしょうか、倍増する。ニュースで聞いたことが、直ぐに毎日の作業に影響してくるのです。

今は、急に作業量が多くて大変な面もありますが、ありがたいことです。この忙しさが、4月以降も続いてくれることを願いながら、「さがらに、または、あじさいに仕事を頼みたい。」と言われるように頑張りたいと思います。

(高塚むつ代)



牧之原市ふれあい広場出店



あじさいの作業
(ペットボトル分別)

家族による学習会

☆「家族による家族学習会」とは

精神障害者の家族の多くは、何の予備知識もなく精神疾患の課題に直面します。

さらに、その症状の不可解さや自分の中にある根深い偏見から、病気への理解や受け入れが難しくなります。同じ体験をした人達(家族)と出会い、病気についての正しい知識を学び、口にすることも辛い体験を語り合いことで、少しずつ気持ちが楽になり、家族にも受容の姿勢が生まれてきます。「家族による家族学習会」は、専門家による家族心理教育とは異なり、精神疾患を患った人の家族(参加者)を対象として、同じ立場の家族(担当者)が提供する小グループで行われる体系的なプログラム(3時間、5回1コース)です。

☆「家族による家族学習会」の目的

- 家族が知りたい情報を提供する
- 適切な情報を得ることで、安心し、自信をもって対応できるようになります。また、そのことが本人にも良い影響を与えます。
- 孤立から連携へ
- 仲間に出会い、話し合うことにより、しやしと安堵感を得ることができます。また、仲間との出会いを通じ、仲間の必要性や家族自身の生活を大切にすることの重要性を実感できます。
- 家族力を高める
- 適切な情報をもとにした学習と話し合いを通じて、家族自身がさまざまな問題に対処し、また働きかける力を高めることができます。

☆こころの「家族茶話会」では

- NPO法人コンボと当法人こころとの共催により、初めての試みとして11月～3月にかけての5回シリーズで「家族による家族学習会」を実施中です。11月に実施した初回に参加された参加者の方々からは、話し易い雰囲気であった。との感想を頂きました来年度、開催の可否は、全てが終了し、参加者の皆様からの要望や、御意見を頂いてから考えたいと思います。

副理事長 松永静男

25年6月～12月の主な法人イベント報告

1. 夏祭り：8月17日（ハートケアセンターこころ）

テーマは「手と手をつないで広げよう こころの輪」、夏の暑さが全開の1日でしたが230名もの来場者がありました。また、島田市のゆるキャラ「おしまちゃん」も登場し、写真撮影やあみだくじを通じて会場を盛り上げてくれました。

2. 法人内交流会：11月15日（牧之原市海浜体育館）

法人の全事業所のメンバー・スタッフ約100人が集い、ゲームやレクリエーションを通じて交流を深めていきました。当日はあいにく雨が降り肌寒い一日でしたが、各事業所の混合チームで協力しあいながら、点数を競う熱い戦いが展開されました。

3. もちつき大会：12月7日（ハートケアセンターこころ）

1週間前の天気予報は雨で心配していましたが、風もない小春日和となり約300人参加のもちつき大会となり、おもち、豚汁も予定を超える量になりました。フルート演奏、ゲーム、農産物販売等もあり近隣の皆さま、当事者にも喜んでいただけたもちつき大会でした。



夏祭り



ふれあい広場



法人交流会



もちつき大会

今後の主なイベント予定

詳細は後日、こころ通信、ホームページ等に掲載します。

2月8日（土）	法人設立10周年記念大会+セミナー	みんくる
3月16日（日）	自主映画「むかしMattoの町があった」	吉田町図書館

助成ありがとうございました。 平成 25 年 6 月～12 月分

・静岡新聞 愛の都市訪問：乗用車 1 台	・静岡県社協：煎餅焼き機 1 台
・イーパーツ：パソコン 4 台	・静岡県社協：福祉事業振興金
・YKデザインリンク：パソコン 5 台	・島田市社協：歳末助けあい

ご寄付ありがとうございました。 平成 25 年 6 月～12 月分 順不同・敬称略

大崎初枝	今野朝子	歌踊工か会	ふるさと祭	地友会
田島勝正	西野啓子	彩扇堂流門下生	大江区長 久保直明	鈴木商店
宅建協会	島自治会	マルハン島田店	は組屋台第一ブロック	金山町町内会
鈴木康允	神田均	地友会	八木かよ子	

賛助金ありがとうございました。 平成 25 年 6 月～12 月分 順不同・敬称略

池田亭司	中村真理子	シミックCMO(株)	あかりディサービス宮川
後藤俊一	中島義夫	たぐちクリニック	エースクリーニング(株)
近藤容子	山本 勇	S. T. P会	(株)大石時計店
鈴木勝	小田部雄次	(株)寺田製作所	(株)塚本工務店
中川正彦	森下美子	(株)沖金物店	桜井資源(株)
長坂和則	福地美知子	(株)増商	沼津熔銅(株)金谷工場
牧野高彦	平岡良江	アクトホーム(株)	静岡市支援センターなごやか
三浦なつ子	鷲山睦美	(有)五島不動産	(有)児玉産業
山城康彦	こすもす	仲田モータース	高桑義雄

25年度こころの組織

